

学校便り
プラハ日本人学校
TEL : 233 340 000
FAX : 233 322 424
Email : gakko@jpschool.cz
No.929 2019/2/11

JAPONSKÁ ŠKOLA V PRAZE

VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び共に学ぶ、豊かな心と国際性あふれる たくましい児童・生徒の育成」

目指す子ども像

かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子

スキー教室

1月16日～18日に小学部5・6年生、中学部1・2年生がRokytnice(ロキトニツェ)スキー場に行きました。とてもいい雪質で、滑りやすかったです。というと、楽しくスキーをしている様子を想像していただくとおもうと思います。ところが、なんと衝突する事故を目の当たりにしてしまいました。2日目の午前中に、Bグループは、女性のインストラクターを先頭にしてパラレルの練習をしながら滑走していました。すると、後ろから来た若い男性スキーヤーが、右から左下に滑っていた先頭のインストラクターに左後ろから猛スピードのままぶつかったのです。インストラクターは、スキー板も外れるほど飛ばされました。幸い打撲だけで済んだようで、後続のインストラクターが400mほど下ったゲレンデ入口まで生徒を誘導してくれました。聞くと、ヘルメットを着用していたので頭は大丈夫だが、左肩を打撲したと言っていました。インストラクターのすぐ後を生徒が続いていたので、本当に肝を冷やしました。ヘルメットは、本当に大切です。



さて、ホテルでは、食事係の指示のもとに食事の度に席を替えて座りました。ほぼ4人席ですから、話したことがない人とも一緒に食事をしながら会話をしていました。1日目は、食事の後、食堂が全体ミーティング(レク)の会場となりました。ここで、先生方から注意。「他のお客さんがいらっしゃるから大きな声を出さないように配慮しなさい。」そして、朝食後の朝のミーティングで生活係から「私たちみんなで注意しよう」との呼びかけがありました。実際、その日の夜のミーティング(レク)では、児童生徒の注意の声が聞こえていました。

また、ホテルへ帰ってきたとき、乾燥室が混雑するのでその誘導整理をしようと運営係や生活係、用具係から提案があり、進んで誘導を手伝う人も現れました。

スローガンの「挑戦～感謝を伝え、みんなで楽しく学ぼう～」に向かって、みんなが快適になるように、周りの人に配慮する学びに挑戦する子どもたちに、たいへん感動した3日間でした。

スキー学習



1月30日は、小学部3・4年生がMonienec(モニーネツ)スキー場へ行きました。学習のめあては、「かっこいいスキーヤーになろう!」でした。初めて、スキーをする児童も多かったのですが、最後まで粘り強くターンの練習をして、みんながスキーの基礎技術を身に着

けることができましたようです。全体の様子を見ることは出来ませんでした。帰りのバスの中で、「寝てる人もいるから、小さい声で話をしようよ。」と言ってる児童の声が聞こえてきました。

3・4年生にも、周りに配慮しようという気持ちが育ってきていることに、喜びを覚えました。

お願い

クラスの連絡網に載せていただいている担任の携帯番号は、緊急用です。ふだんの連絡は、学校の固定電話の方をお願いいたします。